



製品写真

# 製品開発の トータルソリューションを提供

## 株式会社 スタッフ

### 事業内容と沿革

#### 開発から量産まで 一貫対応

大手電機メーカーで開発・設計を担当していた小山栄一社長が26歳で独立して立ち上げた。初期は個人事務所として別の大手電機メーカーに飛び込み、回路設計の業務を受注するなど比較的順調に離陸することができた。家電関係の業務が多く、当初は顧客も限られていたが、だいたい顧客が増え現在の取引先は200社以上、常時5、60社から仕事の依頼がある。開発実績はスマートフォン、タブレット端末、デジタルカメラから大物家電、各種自動車部品、医療機器など幅広い。「設計開発のトータルソリューション企業」として知名度を高めていった。特徴は回路設計から基板設計、機構設計、ソフト開発そして試作から量産まで一貫して手がけること。生産設備は自社だけでなく、韓国の関連会社に最新鋭の量産設備を保有している。プラスチック成形機、マシニングセンター(MC)、放電加工機など多種多様で、クリーンルームも持つ。また営業面では関西圏だけでなく、平成8年には東京支社を開設し首都圏の顧客を拡大している。平成25年には自動車分野での受注獲得を狙いに名古屋オフィスを開設。拠点を置いた効果は大きく、大手自動車部品メーカーとの取引引きが始まった。

### 強み

#### 超短納期品など 困難な仕事でも受注

最大の強みは回路設計から基板設計、機構設計、ソフト開発、そして試作から量産までの一貫体制を構築していること。顧客の開発段階から入り込み、設計後速やかに試作品をつくり、それを検証し量産に至る一連の流れが完成している。試作スピードを上げるため3Dプリンターも活用している。従来はそれぞれの分野が分業化、専門化しているケースが多く、顧客からすればワンストップで業務を発注できる安心感がある。顧客層が拡大しているのはその点にある。しかも小山栄一社長は「到底できそうもない難しい仕事でもどんどん受注するようにしている」とポリシーを語る。自社のスキルでできそうな仕事ばかり受注しては成長も進歩もありえないという考えに基づいている。現在対応中の医療関連の大物モックアップ(模型)製作の依頼は超短納期だが、連日頭をひねり顧客の要望に応えようとしている。このような姿勢なので「顧客の間では『困った時のスタッフ頼み』という言葉があるようだ」と笑う。このビジネスモデルは、小山社長の前職での経験によるところが大きい。回路設計だけでなく機構設計など異なる仕事でもある程度理解できるという。「回路設計の経験がなければ今の業態には行き着かなかっただろう」と振り返っている。



試作・量産工場



設計部隊



本社屋

- 企画・提案
- 試作・受託
- 短納期対応
- 多品種少量
- 量産対応
- コスト相談
- オンライン
- 海外対応

### カドマイスターの取り組み

#### 社会貢献の一環で テニススクール運営

“ものづくりの会社”を主張する一方で、スポーツ事業を展開している。小山社長の人的ネットワークを生かし、平成12年に「スポーツ事業部」を発足させテニススクールの運営を始めた。大阪府四條畷市と同箕面市の2拠点で開設しており、平成20年には分社化して、本社内に「(株)チームスタッフ」を設立した。一般的なテニススクールと異なるのは、収益事業ではなく「社会貢献」、「地域貢献」、「人材育成」に主眼を置いているところ。一流のコーチを招へいし「詰め込み型」かつ「紋切り型」の指導はしない。初心者からプロを目指す人までクラスを細分化し幅広い世代に楽しんでもらう環境づくりを行っている。スクール運営だけでなく、スポーツ用品メーカーなどとタイアップしたイベント開催やスポーツ用品販売まで手がけている。小山社長は「社会貢献なのであまり手を広げつつもりはない」としているが、全国から声がかかっており、将来は首都圏への進出も視野に入れている。

### 今後の展開

#### 守りから攻めへ、 営業拠点拡大も

ものづくりに密接に関連した仕事ながら、どちらかといえば“受け身”の仕事が多いのも事実。過去には超急速充電器を開発、製品化するなど自社商品を保有していたが、いったん終息させた。すでに30年近い実績があり企業としての基礎は完成している。しかし「これまでは自分のスキルに依存した形で事業展開してきたが、そろそろ能力を超えることに挑戦せねばならない」と小山社長は次の展開を模索する。ものづくりが海外に移管されても、開発や設計といったものづくりの心臓部は簡単に海外移転するとは考えにくい。よって「よほどのことがない限り、仕事はなくなる」と国内需要を分析する。それでも守りの姿勢から攻めに転じたい考え。具体的には金属3Dプリンターを導入し、受注拡大を図っている。好調な名古屋オフィスの人員を増強し、自動車関係の受注拡大を目指す。また本社を含む3拠点に加えて、日本国内のものづくり産業集積地に新たな拠点を設けることも視野に入れている。

開発設計から試作・量産まで一貫してサポート



代表取締役  
小山 栄一さん

日本のものづくりは技術の多様化と進化、企業間競争の激化により、ストック型からフロー型開発へ急速にシフトしてきました。必要なときに必要な技術を持つ人材の助けを外部に求める、必要な技術を持った集団に技術開発を任せることこそがメーカーの生命線と言えるでしょう。当社はスペシャリストによる各種設計業務の連携プレーとグローバルな生産ネットワークを駆使した一貫受注システムであらゆる製品のものづくりを一貫体制でフレキシブルに対応します。高付加価値の技術と人で、お客様のものづくりをトータルにサポートします。

**主な事業内容**  
回路設計、基板設計、機構設計など各種設計、試作・量産

**主な取引先(納入先)**  
パナソニックグループ、日本電産グループ、テルモ(株)など

【住 所】〒571-0048 大阪府門真市新橋町1-4  
【T E L】06-6906-6484  
【F A X】06-6906-4542  
【創 業】昭和63年7月 【設 立】平成3年4月  
【資本金】1,500万円 【従業員】32名

<http://www.rd-stuff.com>

